

中間市教育委員会

定例教育委員会会議録

(平成29年12月)

- 1 日 時 平成29年12月7日(木) 14時30分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員 衛藤委員 齋田委員 坂口委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 片平教育長 田中教育部長
森学校教育課指導室長 古賀生涯学習課長
池田学校教育課長補佐 日下部生涯学習課長補佐
村上教育総務課長 小林教育総務課総務係長
- 6 傍聴人 3人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

平成29年12月7日（木）14時30分

- 1 前回の議事録の承認

- 2 報告事項
 - (1) 平成29年12月学校教育行事及び社会教育行事について
 - (2) その他

- 3 協議事項
 - (1) 平成29年1月定例教育委員会の開催について
 - (2) 社会教育施設等あり方検討委員会委員の推薦について
 - (3) その他

- 4 議決事項
 - (1) 第27号議案 平成30年度中間市県費負担教職員の人事異動方針について
 - (2) 第28号議案 平成30年度中間市県費負担教職員の人事異動取扱い要領について

[開会時刻：14時30分]

田中教育部長 皆様へご報告がございます。11月28日の定例市議会におきまして、人事案件2件が承認されました。片平慎一氏が本年12月4日付で教育長に就任され、衛藤修身氏に平成30年1月1日以降も教育委員を引き続きお受けいただくというものでございます。それではお二方よりご挨拶をいただきたいと思っております。

片平教育長 12月4日付で教育長に就任いたしました、片平慎一でございます。私は、昭和60年に初任者として中間東中学校に赴任いたしました。その後は中間市内の中学校、県教育センター、県教育委員会で勤務し、また本市の学校教育課長として、教育に携わってまいりました。

この度、教育長に就任するにあたり、学校教育課長から継続して中間市の教育行政に携われることは、私自身の強みだと思っております。この強みを生かしながら、さらに中間市の教育行政に関わっていけることを大変光栄に思っております。

学校教育においては、来年度から順次実施される「道徳」の教科化をはじめ、学習指導要領の改訂等、教育が大きく変わろうとしています。その実施に際し、学校の創意工夫と先生方のひたむきな努力のみに委ねられることなく、教育委員会として何ができるか、何をしなければならないのかをしっかりと見極め、学校を積極的にリードできる中間市教育委員会にしたいと考えております。

また、少子化に伴う学校適正規模のあり方や学校給食等、さまざまな課題もございます。これらについても、その解決に向けて積極的に取り組んでいく所存でございます。

さらに、生涯学習にあつては、中間市の自然や風土に根差した豊かな文化やスポーツの振興に努め、「教育都市なかま」の実現に向け、誠心誠意取り組んでいきたいと考えております。

これまでの学校現場、教員研修施設、教育指導行政での経験を生かし、私を教育者として育ててくださった中間市に少しでも恩返しができるよう、尽力してまいります所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

田中教育部長 ありがとうございます。続きまして、衛藤教育委員、お願いいたします。

衛藤委員 この度、再任を拝命いたしましたので一言ご挨拶いたします。

1期目の4年間が終わろうとしています。就任する前は、教育委員がどのような仕事や役割をするのか分かりませんでした。4年目を迎え、教育委員としての仕事の重大さや、責任の重さというものを感じながらこれまで頑張ってきました。今後、教育問題はますます変化が加速していく状態ではないかと思います。そのことを踏まえ、教育行政の推進、学校教育の活性化、生涯学習の振興、子どもたちの学力向上、そして教育に関する諸問題に対する市民の理解がより一層広まるように、次の任期も精いっぱい頑張っていきますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

田中教育部長 ありがとうございます。それでは、ここからの進行は片平教育長、お願いいたします。

片平教育長 はい。それではこれより、平成29年12月定例教育委員会を開催いたします。

村上教育総務課長 付議事項に入る前ですが、1件よろしいでしょうか。教育長の任命に伴い、教育長職務代理者を指名していただきたいと思います。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項により、教育長に事故があるとき又は教育長が欠けたときは、あらかじめ指名する委員がその職務を行うこととされています。これによりまして、教育長から職務代理者の指名をお願いいたします。

片平教育長 はい。引き続き、河本直子委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

事務局、各委員 よろしく願いいたします。

片平教育長 それでは、付議事項に入ります。お手元にある11月の議事録について、確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。

各委員 はい。

片平教育長 では、承認いただいたものとします。ありがとうございます。
続きまして、報告事項に入ります。平成29年12月学校教育行事及び社会教育行事について、まず学校教育行事からお願いいたします。

森学校教育課
指導室長

はい。12月の学校教育行事についてご説明いたします。まず、共通行事でございます。本日、18時より人権問題講演会が開催されます。これは毎年人権週間に行われているもので、今年は難病に負けることなく精力的に活動されている落水洋介さんを講師に招聘して行われます。学校の教職員や保護者も参加予定です。小学校は20日、中学校は21日で給食終了となります。中学校は部活動等の関係で終業式の前日まで給食を提供することになっています。22日には2学期の終業式が各小中学校で行われます。今年度は12月23日から1月8日まで、17日間の冬休みとなります。

続いて、各学校の行事です。各小学校では、第2回目の中間市学力テストが実施されます。こちらは4月と12月の年2回行っておりますが、2回目については12月の中旬までに実施するよう各学校に指示しております。学期末ということもあり、一斉に同じ日時で実施するのは調整が難しいため、各学校で実施日がずれていることをご理解ください。

底井野小学校では、1日に漢字検定が行われました。年間4回行っているうちの3回目です。16日には、土曜授業で餅つき大会が計画されています。

東小学校では、1日に全校平和集会が行われました。東小はトイレ工事の関係で夏休みの出校日に平和学習ができなかったこともあり、長崎の修学旅行で学んだことについて6年生が報告するという形で平和集会を行っております。本日、租税教室が実施されます。前教育委員の中尾さんをゲストティーチャーに招いて授業を行います。13日には北小学校でも同様に実施されます。

中間小学校では、各学年で学年レクが計画されています。これは親子レクという形で、学年ごとに内容を創意工夫して行われます。5年生、6年生は3学期に実施予定です。

北小学校では、8日に、2年生が北中の1年生と一緒にしめ縄づくりを行います。これは小中連携の取り組みの一環として、毎年行われています。

南小学校では、2日に土曜授業でマラソン大会が行われました。校内でコースを設定し、0.8km～2kmを学年ごとに走りました。

続いて、中学校です。中間中学校では、8日に地区別道徳研究協議会を行います。県の道徳教育充実のための事業を受けたもので、1年生と2年生で研究授業が公開され、それに基づく研究協議が行われます。

北中学校では、2日に、3年生を激励する趣旨で餅つき大会が行われ

ました。

南中学校では、1日に規範意識講演会が行われ、NPO法人「子どもとメディア」から講師を招いて、スマートフォンの取り扱い、インターネットを使用する上でのモラルやマナーについて学習する機会を設けました。こちらには保護者の参加もみられました。8日には、歯科医を招いて歯科衛生指導を行います。歯の健康について学び、歯磨きの重要性に対する理解を深めるというものです。

また、全ての中学校で三者面談が行われます。保護者と生徒が一緒になり、3年生はいよいよ進路について意思決定を進める時期となっています。以上です。

片平教育長

はい。ただ今の学校教育行事について、ご質問等はありませんか。

衛藤委員

はい。南小学校で1日に「5年居住地交流」とありますが、以前、西小学校で実施されたものと同じ内容でしょうか。

それから、南中学校の歯科衛生指導について、私が学校現場にいた頃は、歯科検診は実施されていましたが、歯科医から子どもたちが直接に指導を受けるということはありませんでした。これは初めての事業ではないかと思いますが、大変良いことですので、他の学校に広げていく計画があるのかお尋ねしたいです。以上2点です。

森学校教育課
指導室長

はい。ただ今のご質問にお答えいたします。まず1点目、南小学校の居住地交流についてですが、西小学校で以前実施されたものと同じ内容です。南小学校の校区に居住する直方特別支援学校5年生の児童2名が参加しています。5年生の学級に入って、一緒に授業を受けたり、休み時間に一緒に遊んだり、ちょうどマラソン大会の前日でしたので、マラソンの練習と一緒に参加したりしています。

2点目、南中学校の歯科保健指導についてですが、おっしゃるとおり、初めての取り組みです。南中学校でも1年生だけを対象に行われておりますので、他の学年への広がりや、また他の学校にもこの取り組みについて報告し、よいものは広げていければと考えております。以上です。

衛藤委員

はい。ありがとうございました。

片平教育長

はい、よろしいでしょうか。他にありませんでしょうか。

河本委員	南中学校で1年生を対象に「赤ちゃんふれあい体験」がありますが、こうした赤ちゃんとの触れ合いによって、小さい子どもに接するのが苦手だった子も好きになったという話を聞きますし、大切なことだと思います。「赤ちゃん」とは、だいたい何歳くらいの子を対象に、どんな内容で行っているのでしょうか。
森学校教育課 指導室長	はい。新生児から1歳前後くらいまでの乳幼児を想定して、人形を使った体験活動を行います。おむつを取り替えるなどのお世話などですね。
片平教育長	よろしいでしょうか。
河本委員	はい、わかりました。
片平教育長	他にありませんか。
坂口委員	底井野小で、14日に研修(個人)とあります。これはどういった内容でしょうか。
森学校教育課 指導室長	学期末で個人懇談の直前ですので、評価の内容等について確認をしながら個人懇談の資料作成をしたり、これまでの評価を再度見直したりして、指導内容についての反省、総括を行うという趣旨でございます。教員各自の作業であることから、(個人)と表記しております。
坂口委員	はい、わかりました。
片平教育長	よろしいでしょうか。他にありませんか。
齊田委員	冬休み前の個人懇談会について、東小学校だけ入っていないようですが、これはどういったことでしょうか。
森学校教育課 指導室長	東小学校ではこれまでも、この時期の個人懇談は行われておりません。夏休み前には実施しております。学校規模等が大きいため、対応が難しいという物理的な面もあるのですが、教職員は日々の教育活動や家庭訪問等の中で、この時期に懇談を行わないことを踏まえて家庭との連携を十分にとりながら情報共有を図っています。

齊田委員

分かりました。

片平教育長

他にご質問等よろしいでしょうか。それでは、社会教育行事について説明をお願いします。

日下部生涯学習課長補佐

はい。12月社会教育行事についてご報告いたします。

まず生涯学習課でございます。本日、「きらめき大学教養講座」の閉講式がございました。先ほど学校教育課でも説明がありましたが、「人権問題講演会」が本日18時から中央公民館講堂において行われます。講師の落水洋介さんは北九州市出身で、100万人に1人といわれる難病のPLS（原発性側索硬化症）という病気にかかり、3年前から手足の動きが悪くなりながらも、現在車椅子に乗って全国各地を回っていらっしゃいます。「病気をしたけど今が一番幸せ」という講演題目で、聴衆に力強く訴えかける講演会でございます。ぜひご来館いただきますようお願いいたします。続きまして10日、市内小中学生の希望者を対象に「親子凧づくり教室」が働く婦人の家で行われます。17日、「県子連カルタ大会」が中央公民館で行われます。22日、「自然再発見講座」で門松を作る予定でございます。

続きまして、図書館でございます。「冬の図書館まつり」が12月2日から23日まで開催される予定です。期間中には一連の事業があります。2日の「折り紙でクリスマスリースを作ろう」という企画は小学生から大人まで、20名を対象に予定されております。9日「年忘れ落語会」は落語を図書館で披露するという珍しい形のもので、非常に人気があり、小学生から大人まで、定員30名がすでに予約で埋まっているそうです。10日「おとなの上映会」には、一般成人30名の応募が集まっています。17日「プラネタリウム鑑賞会」もまつりの一環で、小学生から大人まで30名の方が応募されています。すでに予約でいっぱいであり、大人の方の鑑賞も非常に多いということです。23日は図書館まつりの最終日として「おはなし会」を行う予定です。

ハーモニーホールでは23日、「オーケストラで聴くジブリ音楽」ということで、大ホールにてコンサートが行われる予定です。以上です。

片平教育長

はい。ただ今の社会教育行事について、ご質問等ありませんでしょうか。

衛藤委員

はい。「冬の図書館まつり」の事業として開催されるのは「年忘れ落語

会」、「おとなの上映会」、「プラネタリウム鑑賞会」、それと今までも実施している「おはなし会」ということでしょうか。

日下部生涯学習課長補佐 その4つと、2日に実施された「折り紙でクリスマスリースを作ろう」という催しです。

衛藤委員 はい。わかりました。

片平教育長 よろしいでしょうか。他にありませんか。

河本委員 「プラネタリウム鑑賞会」とありますが、図書館にプラネタリウムの施設はあるんですか。どうやって上映するのかなと思ひまして。

古賀生涯学習課長 はい。研修室の天井を利用して行っております。

河本委員 機械はあるんですか。

古賀生涯学習課長 はい。

河本委員 これは初めての試みですか。

古賀生涯学習課長 いえ。何度か開催したことがあります。

片平教育長 はい。よろしいでしょうか。

河本委員 分かりました。

片平教育長 他にありませんか。

坂口委員 体育文化センターは12月の行事はないのですか。

古賀生涯学習課長 スポーツ大会等の行事は11月までで終了しておりまして、この時期は通常の貸館業務として、各団体等が利用しています。

坂口委員 貸館業務ですね。はい。分かりました。

片平教育長

よろしいでしょうか。

それでは、その他、報告事項ありませんでしょうか。

衛藤委員

11月11日、福岡県市町村教育委員会連絡協議会の研修会に参加してまいりました。協議会の会長は中学校の校長先生だと思いますが、会長挨拶の中で、自分の学校もそうだが、教職員の時間外勤務が非常に長いということをおっしゃっていました。先日、東小学校の学校訪問の際に、先生方が20時くらいまで残業されているという話をお聞きしました。昨日、南小学校の学校訪問でも勤務時間をお尋ねしましたら、19時半ごろまでは残っているそうですので、勤務時間終了後2、3時間は残業されているようです。教育委員会は教職員の時間外勤務の実態をどのように把握されているのか、あるいは今後把握する計画等があるのか、教えていただきたいです。教職員の働き方改革については国も提唱していますし、学校現場も教育委員会も取り組まなければいけない問題だと思います。まずは実態把握をどうするかというところについて、お尋ねしたいと思います。以上です。

森学校教育課
指導室長

はい。教職員の勤務時間については、本市の中でも課題が見受けられます。これまでも、何度か話題になったことと思います。

実態把握について、まず学校現場においては、学校ごとに細かな違いはありますが、各教員から退勤時刻を口頭で報告させ、管理職が把握するようにしております。勤務時間は16時45分までとなっておりますが、業務の都合上どうしても、そこできっちり終わって帰れるものでもない実状がございます。その中で学校教育課としては、原則として、遅くとも20時までには退勤するよう指導しております。以前は23時くらいまで残っているという話も珍しくなかったんですが、その点については改善がみられているところです。

次に、管理職が把握した状況を市教委が確認する方法としては、現在のところ、校長会議、教頭会議等の際に口頭による聞き取りを行っております。全体の傾向について、随時情報を集めながら整理しているところがございます。今申し上げたように、若干、改善の傾向がみられてはおります。必要に応じた指導助言や、日常的な啓発も行っております。ただ、私自身も経験があるんですが、やろうと思えばいくらでも仕事はあるので、どこかで折り合いをつけなければなりません。教員側の意識改革と、管理職や市教委といった管理者側の改革の両面から取り組まなければならない問題だと考えております。

ちょうど本日の新聞に、熊本県におけるタイムカード導入等についての報道が載っておりましたけれども、福岡県でもタイムカード導入に関する調査等が行われております。いろいろと課題もあり、すぐに導入という話にはなりません、県の判断を待ちながら、近隣の情報も集めながら、より客観的な実態把握と改善に努めていきたいと考えております。以上です。

片平教育長

はい。よろしいでしょうか。

衛藤委員

ありがとうございました。学校訪問の際に拝見しましたが、あれだけの教材を提示されるというのは、残業しての教材研究がすごいんだろうと思います。勤務時間を短縮すると、教材研究がしにくい。かといって時間をかけすぎると、今度は教職員の健康問題に関わってくるということで、非常に難しい問題だろうと思います。いずれにしても、先生方の健康管理、勤務時間の短縮という点からも改善していかないといけないと思いますので、今後も引き続き、教育委員会の中で議題として取り上げていただければと思います。以上です。

片平教育長

はい、ありがとうございます。他にありませんでしょうか。

古賀生涯学習
課長

はい。生涯学習課から2点あります。まず、お手元に配布しております、成人式のご案内でございます。来年1月7日日曜日に中間市成人式を開催いたします。ご案内のとおり、11時半からアトラクションを開始し、式典は12時から行います。なお、平成29年12月1日時点の調べで、新成人は男性185名、女性174名の計359名です。お忙しい中とは思いますが、ぜひご参加をよろしく願います。

もう1点、11月18日に行われました日本体育大学との協定事業、陸上教室と講演会についてご報告いたします。午前中は、小学生40名を対象に陸上教室を行いました。スタートのやり方、日々のトレーニングのやり方、早く走る方法などについて教えていただきました。午後からの講演会には、約300名の参加がありました。アンケートの結果を見ますと、大変好評でありましたので、次年度も日本体育大学との協定事業を行っていきたく思っております。以上でございます。

片平教育長

はい、よろしいでしょうか。他にありますか。

森学校教育課
指導室長

11月25日に行われた中学生英語暗唱大会についてご報告いたします。お手元にコンテスト結果一覧をお配りしております。両面印刷しておりますが、どちらも内容としては同じものです。片面は発表順、片面は審査結果順に並べております。校内審査で選ばれた各学年2名ずつ、計24名の生徒が中央公民館に集まり、主に世界遺産をテーマとした英文を暗唱しました。審査は、中間市のALT4名、北九州教育事務所のALT1名及び英語指導主事1名の計6名が行いました。審査結果についてはご覧のとおりです。どの生徒もネイティブスピーカーと遜色ない、非常に見事な発表を行っておりました。私も審査室に入ったんですが、審査員は本当に苦労していらっしゃいました。1点刻みの配点をしていたのですが、苦肉の策で0.5点という得点を付けるくらい拮抗したレベルで、優秀賞と奨励賞も本当に僅差であると捉えていただければと思っております。審査員の方からは、全員に最優秀賞を与えたいという声も聞かれておりました。毎年行っているこのコンテストですが、年々レベルが上がっていて、北九州教育事務所の指導主事からは、本当にハイレベルな大会だったという講評をいただいております。ご参観いただきありがとうございました。

片平教育長

はい、よろしいでしょうか。他にありませんか。

坂口委員

今、時間外勤務の負担が大きくて心を病まれたり、また肉体的にも限界なのと言えなかったりする先生方が水面下でいらっしゃるのではないかなと思うんです。昨日、南小学校の学校訪問でも拝見しましたが、あれだけの資料を作るというのは時間外勤務や自宅で仕事をしないとできないと思うんです。声を上げることができない若い先生方も水面下でいらっしゃるのではないかと拝察しております。精神疾患等に罹患された先生や、疲労困憊の先生はいらっしゃらないでしょうか。

森学校教育課
指導室長

そうした状況の先生方はギリギリまで申告しないというのは、おっしゃるとおりだと思います。校長、教頭を中心に、先生方へ声かけをしながら、できるだけ負担を減らすように管理職が努力しているところです。どちらかという、勤務時間の長さや業務量の多さというよりは、生徒指導上の難しさや、努力しているけどなかなかうまくいかない、理解してもらえないという状況に対して苦しい思いをされる先生が何名かいらっしゃいます。ただ、学校はチームとして組織的に対応するようにしておりますので、どの先生方も、事案が長期間にわたらず、比較的短い期間

で改善していますし、休職されたとしてもすぐ復職可能な状態にできるよう、管理職が中心となって、学校全体でその先生をサポートしています。また、学校で未然防止と早期対応の取り組みも進められています。教育委員会としても、校長や教頭に対して取り組み事例を提示するなど日々情報発信を行い、業務及び精神的な負担の軽減について配慮していただくようお願いしながら、そうした状況の先生が減るように努力をしているところでございます。

片平教育長 それに加えて、本年度から全職員にストレスチェックを行っております。職員が自分の心の状態をチェックできるようにしているところでございます。

坂口委員 口頭による勤務時間の聞き取りといっても、本当の時間よりも少なく申告されることもあるかもしれません。県においては、タイムカードの導入を早めにしてほしいと思います。

片平教育長 はい。他にはよろしいでしょうか。
それでは続きまして、協議事項に入ります。まず、平成30年1月定例教育委員会の開催について、説明をお願いします。

村上教育総務課長 はい。平成30年1月の定例教育委員会日程ですが、1月9日火曜日10時から第1委員会室で開催したいと考えております。以上です。

片平教育長 よろしいでしょうか。

各委員 はい。

片平教育長 続きまして2点目の、社会教育施設等あり方検討委員会委員の推薦について、説明をお願いします。

古賀生涯学習課長 はい。社会教育施設等あり方検討委員会委員の推薦につきましては、11月の教育委員会においてご報告いたしました、社会教育施設等あり方検討委員会設置要綱第3条第2項第4号に基づいて、教育委員の推薦をいただくものでございます。任期は平成31年3月31日までとなっております。ご推薦のほど、よろしく願いいたします。

河本委員	衛藤委員を推薦したいと思いますが、どうでしょうか。
衛藤委員	はい、わかりました。
片平教育長、 各委員	よろしく申し上げます。
古賀生涯学習 課長	よろしく申し上げます。
片平教育長	その他ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。
	<p>それでは、議決事項に入ります。第27号議案平成30年度中間市県費負担教職員の人事異動方針についてでございます。5ページに方針案を載せています。これを決定することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第4号の規定により、委員会の議決を求めます。内容につきましては、池田課長補佐が説明いたします。</p>
池田学校教育 課長補佐	<p>はい。第27号議案平成30年度中間市県費負担教職員の人事異動方針についてでございます。5ページをご覧ください。福岡県教育委員会の県費負担教職員人事異動方針に則り、本市教育の充実発展を図るため、公正かつ適正な人事異動を次の方針によって行います。1つは、適材適所を旨とし、教職員構成の適正化と充実を図る。2つ目は、人事の刷新を図る。3つ目は、他市群との交流を広め、広域人事の推進に努める。4つ目は、県教育委員会と十分に協議を行い、有能な管理職の任用に努める。</p>
	<p>この方針を決定することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第4号の規定により、教育委員会の議決を求めます。以上でございます。</p>
片平教育長	ただ今、説明がありましたが、承認いただけますでしょうか。
各委員	はい。
片平教育長	はい。ありがとうございます。
	<p>それでは次に、第28号議案平成30年度中間市県費負担教職員の人事異動取扱要領についてでございます。この取扱要領を、7ページにあるとおり決定することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する</p>

法律第25条第2項第4号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。内容については、池田課長補佐が説明いたします。

池田学校教育
課長補佐

はい。7ページ、取扱要領案をご覧ください。異動について、職員構成の適正化と充実を図ることと、広域人事について、他市郡間の交流の推進と、県教育委員会の示す人事異動取扱方針を踏まえ、適切にして円滑な異動の実施に努めるようにいたします。採用については、校長、教頭等の管理職は人格高潔であって教育的識見に長じ、学校の管理運営に対する熱意と十分な力量のある者を選考し、その他教員や再任用職員は、北九州教育事務所と十分協議して選考することといたします。以上でございます。

片平教育長

この件につきまして、承認いただけますでしょうか。

衛藤委員

内容はそのとおりで結構だと思いますが、県教委のヒアリングがあると思いますので、その際に2点ほど、ぜひお願いしたいことがありますので、お伝えください。

1点は、昨日の学校訪問でも見受けられましたが、教職経験の豊かな先生方と、経験の浅い先生方の二極化がどんどん進行しているという問題がありますね。この二極化については、県教委だけで解決できる問題ではないと思いますが、若手職員が3割から4割を占めて、ベテランの先生方が2割程度、そして中間層がほとんどいないという状況になっておりますので、何とかお考えいただきたいと思います。

もう1つは、採用についての問題ですが、昨日の南小学校でも、講師の先生がかなり多くいらっしゃいました。教育委員会も日頃から苦勞されて、県教委に常々要望されていると思いますし、教育長もさまざまな機会でお話しされていると思いますが、学校の状況等を考えると、講師の人数をできるだけ減らすということが必要になろうかと思えます。前教育長も機会あるごとに申し入れるとおっしゃっていましたが、中間市教育委員会としても、教育長がいろいろな場面で、あるいはヒアリングの際にも、県教委や人事担当者等をお願いしていただきたいです。以上です。

片平教育長

はい。私からも、正規教員定数欠がないようお願いしておりますので、引き続き申し入れていきたいと思えます。以上です。

他にありませんか。それではご承認いただいたということで、よろしいでしょうか。

各委員

はい。

片平教育長

はい。他にありませんでしょうか。

ないようでしたら、これをもちまして、平成29年12月定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

各委員

ありがとうございました。

[閉会時刻：15時00分]